

---

# 山野星雄殺害事件

arutema

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

山野星雄殺害事件

### 【Nコード】

N4044H

### 【作者名】

arutema

### 【あらすじ】

はじめての逆転で登場した山野星雄が殺害された。そして、逮捕されたのは、逆転裁判3で出てきた、成歩堂と関係が深いあやめだった！成歩堂はあやめの無実を信じ、あやめの無罪を証明できるのか…？

## 第1話：被告人が…!

ぼくの名前は成歩堂龍一。弁護士だ。特徴?…尖った後ろ髪かな?

「なるほどくん!何固くなってるの?」

「あ、真宵ちゃん」

「まったく、なってないなあ。弁護士なんだから、もっとしっかしなきゃ!」

この偉そうなことを言っている子は、綾里真宵ちゃん。霊媒師だ。

「偉そうって何!?なるほどくんのせいじゃない!」

「ぼ、ぼくかよ!」

「そーだよ!」

そうしていると、インターホンが来客を告げた。

「はい?あ…!」

「久し振りだな…成歩堂」

「御剣!」

「え?御剣検事!」

この男は御剣<sup>みつるぎ</sup>伶侍<sup>れいじ</sup>。以前は天才検事として君臨していたが、最近是有罪を勝ち取るよりも、真実を重んじるスタイルになった検事だ。

「む、真宵くんか。失礼する」

ソファに腰掛ける。

「どうしたんだ？」

「成歩堂：頼みがある」

「は？御剣が頼むなんて珍しいな」

「そうだな。DL6号事件絡み以来だからな」

「弁護の依頼か？」

「ああ」

「で、誰なんだ？」

「…行けば分かるさ」

「…分かった。行くよ、真宵ちゃん！」

「え？あ、うん！」

（誰なんだ…？）

午前11時。留置所。

「さっきの被告人を！」

御剣が呼ぶ。奥から了解と聞こえた。そして、現れたのは：

「ええっ!?!」

そこにいたのは、ぼくにはものすごく見覚えのある人だった。

「あ、あやめさん…!」

そう、そこにいたのは、大学時代にずっとぼくと『美柳ちなみ』として付き合っていた、あやめさんだった。※分からない人は『逆転裁判3・華麗なる逆転』をやってみよう!

「どうしてまたこんなことに…」

「分かりませんわ! 突然捕まってしまったんです…!」

「…とにかく、どんな事件か教えてください」

「はい、分かりました。」

成歩堂がメモに書いたこと。

被害者 山野星雄

死亡推定時刻 6月21日(昨日)、16時

職業 警備員

死因 シアン化カリウム（青酸カリ）

逮捕への経緯 身体検査、家宅調査

現場 スター公園

「もしかして、家宅調査で？」

「家に入れた覚えはないんです！なぜか発見されたって言われて…」

「そうですか…。分かりました。では、準備をお願いしますね」

「え…？何のですか？」

「依頼状です。当然でしょう」

「私の無実を、信じてくれているんですか？」

「…以前の事件がありますから、信じています」

「あ、ありがとうございます！では、お願いします！」

「ねえ、いまさら聞くんだけど」

「ん？」

「この人、誰？」

「ほら、きみも刺されかけたじゃないか。美柳ちなみに。その双子の妹さんだよ」

「あ…！」

「ちよつ、真宵ちゃん！大丈夫だって！ちなみとは違うから！」

そう、真宵ちゃんはあやめさんの双子の姉・美柳ちなみに殺害されかけた過去があるのだ。奇跡的に助かったが。

「じゃあ、全力を尽くしますから、よろしくお願いします！」

「は、はい…」

「仕方ないな、とにかく調査を始めよう。裁判は明日だ。とにかく急がないと…」

「あ、アンタ！」

「あ…イトノコ刑事」

本名・糸鋸圭介通称イトノコ刑事。薄給の刑事だ。なぜかよく会う。まあ大人の事情なんだろうな。

「ちよつと現場を調べさせてくれますか？」

「お、あやめさんの弁護、やっぱり引き受けたツスカ」

「ええ」

「アンタにとっては大きな事件ッス。特別に許可するッス」

「ありがとうございます」

どれどれ…ここに死体があったのか…。ベンチがすぐそばにある。転げ落ちたのかな？あ、弁当だ。きつとこの中に入ってたんだろうな。水筒じゃあ縁についたときに白が目立っちゃうから…。って、おい！そんなこと考える前に…！

「なんでご飯がこんなに早いんですか！午後4時でしょ！？」

「しらねッスよ！プライベートなことを聞かれても！」

「…仕方ない。この人の知り合いは誰がいますか？」

「こっちに連れて来たッス。ちなみに、山野星雄は一人暮らしッス」

「オレ、山野と裁判で戦った、矢張政志！」

「矢張！なんでここにいるんだよ！」

こいつ…事件の影にやっぱり矢張と呼ばれているぼくの親友・矢張政志だ。ちなみに、最初の自己紹介の意味が分からない人は、『逆転裁判（蘇る逆転） はじめての逆転』をやってみよう！

まあいいや。ほかには…松竹梅世さん、小中大さん、芝九蔵虎之助さんか…。なんだか見覚えのある面々だけど、まあいいや。一人一



人アリバイを聞くか。

「あ、アリバイなら調べたッス」

「え？」

「松竹梅世と小中大は事件当時、小中の部屋にいたッス」

「ちなみにその家は？」

「ここから歩いて約20分ッス」

（ということは、来ようと思えば来れたわけか）

「じゃあ矢張と芝九蔵さんは？」

「あの青年はバイトッス。芝九蔵は社長をやってるッスから、出かけることはできないッス」

「外部からの可能性は？」

「ないッスね。山野星雄は郵便局で働いているッスが、何かをかけられたとしても、コートを置いた状態ッスから」

「なるほど…今回は随分堅実ですね」

「御剣検事の教えッス！」

「ははは…」（そのくらい自分でできないのかよ…）

さて、知り合いはあやめさんを入れて5人…。その内、2人はアリ

バイが完璧に近い。1人は完璧か…。あとはあやめさんにアリバイを聞いておくか。

次回へ続く。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4044h/>

---

山野星雄殺害事件

2010年10月11日00時26分発行